現はれつつあるやうたが等ろの通りである、前して工業金融上から観で昨今埼貴乂新股融上から観で昨今埼貴乂新股融上から観で昨今埼貴乂新股ーである。前して工業金融上から観で昨今埼貴乂新股ーである。前して工業金

であた。 であた。 であた。 であた。 であた。 であた。 であた。 であた。 であた。 世間の本学であた。 であた。 世間の本学賞金の要 水者にして此の編別を解せざるもの を整徴り、経営者の信用さ技 を整数り、経営者の信用さ技 に、生産品の整價、枚度の調 がの。 の本動から観て、経来の業績 の本動から観である。 であた。 で

面して金融上に於ては債務の 整理に干與すらは勿論である 整理に干與すらは勿論である 整理に干與すらは勿論である を登録しまた長期の資金を 供給するものであつて、事業 の郷商亦長即資金に使つて初

りもので來編したが大連に 上陸してから奉天を經で汽車の中でも日補人の仲よく して居るのには意外の感が あつた。現に上海民衆には

本人である。
こ、支那からの旅行者は保一二、支那からの旅行者は保

で小配して居つたが此れで減洲には親族が廃山めるの

を始め多数會社の重役を乗誘 する澁澤正輝氏は突如財界艦

男女のは婚は納税して一

満經濟提携に

實業名鑑を發刊す

△一月以降日

(電剛千國) 四、一二二 10、一大二 五、九二三二

大藏省券

四千萬圓償還

路累計

四七三二二九八八六〇二六

信恵満期の大蔵省参四千萬園 信恵満期の大蔵省参四千萬園

張實業部總長の發案

二、各學校の校長は全部日

見て初めて風赤な嘘である。 東が判つた、支那奥地は勿 総上海の街上よりも安全で 気持く上下一致建誠に努力 して居る有様を見て異の 王道樂士が出現するであら

十二月中の

外地の貿易額

人超五百萬圓に上る

中谷時計店

一週間に百十間前落したほで 株式畑の投げさ直輸筋及び昭 株式畑の投げさ直輸筋及び昭

常舒三人正四

鮮米買入は

日本福通師前

個門を刺つて七百七十間<u>養。</u>

芸泥の差です くど見るど 人京した上海商人

五、人もり といっては許一 満洲國の實情を見て驚く

た、役所は日本人監督で監 記日本人が入込んで干渉 たして寄る すれは調べもせずして統 し減害は全部没收して居 取引をしたいが信用ある商人 人民の本を読む事を禁 ないか」さか「お娘の顔人ユ に砂査したいが適高な事業は さのもあらやうだが、精局領は仲々蟲のいも住文をして殊して来 満足を與へ Bい こ 秘書に命じ 長は是等の希望者になるべく に要りはない、 直面目な銀穂 洲に騒心を持ち端人病人で提 言つた注文がしきのだ。中にの名を知らせて貰ひ度い」さ メラキリ増えたのは「福州河

一々般切な耐答を與へてまたが、最近では照ければ血積するばかり、此のために二三人の役人が掛ら切りさいと有様で流石の提想を以りないとうの役人が掛ら切りさいと有様である地の商店名。所在地並当に取賃商品の主要なものを一覧に收めた實業名騰を殺引しまいるモブルーの下に先づ調者さの提携を計る策を被引した。翌日役所に出動し側ょ音に □相談 した所何れ 直ちに各省實業廳に向け右調 大質成、 した所何れ

告か首を長くして待つてゐるころ説總長各地よりの結果報 数を見た模様であるの結果近く引下断行に意見一の結果近く引下断行に意見一 「パリー十二日 産城通」 場暇 シテル伯は十二日 パリー 登時 パリー競赴日す

に出来ないと、きつばりばなった。 「無いないと、きつばりばなった。」

鮮農の自力

といふ略・信継の郷際で斜に縦

から 先づ製繩副業

中であつたが今回朝鮮人居留 中であつたが今回朝鮮人居留 中であったが今回朝鮮人居留

任會並びに朝鮮人金融會は總 に對する副業機勵戰を樹て彼 等に給異による依賴心を起す を計る質め製細事業を興させる 事になり、取敢へ中一臺州國 整甚しき十夕房の鮮農部落に 後書しき十夕房の鮮農部落に

12 20

京本ギマクラビリ

數多柄新

ムパルアトチプクガ

告急

一朝リー のやうな切 はしかも有名な親日家で、感謝の手紙が雨のやうに内外 味を見せ、

澁澤正雄氏

財界隱退を聲明

崩落續く

絹糸市場

工業金融と

(東京十二日 段 超通) 富士製 (東京十二日 段 超通) 富士製 の人で置りに就ては一層考電 の人で置りに就ては一層考電

銀石樓製業

結城豐太郎

れるか更に大に發展し得るこ

債務の整理

間の協調を促すさか、又當業 共同に中間に介在して富業者 大同に中間に介在して富業者 大同に中間に介在して富業者 するここが全(不可能さなり 他促を受けて忽ち回收される のみならず、其の映乏を補充 上睽跌々來し破綻に陥つた實関章狼狽の結果英しきは経營 いて傾も彼も云つて

東要なる地位を占めて居る、 財界の前途が好況にせよ、不 兄にせよ此の問題は一朝にして 地域されるここは無い、即 を計儀の養行は情替たるご新 優に在る、然らば今後社債 保附減債基金制のものたらし なろや・軽債者も会融※者も なったののたらし 善さ工業金融2の関係に於て でする今後衛性債務の整理改 でする今後衛性債務の整理改 をいと、あんまり誰が立つたから ながあるから楽いと云ふので、あしがあるから楽いと云ふので、あしがあるから楽いと云ふので、あ でそれから、関もよせい がとは、ちいつとい 段位子は、無常で、二

物を行ふここに依つて経営の を助成することが出来やっこ を助成することが出来やっこ

のですか。よく分りまが、もうあんな人たちが、もうあんな人たちからになる てへえ、そんな と即つかりさらにもありませんか ちも、あたなに御送戏があります。その他り、わたしのがかしてあげしてあげ

政郷ない際で云った。

▲職業和介養職会 新京勞動保護会 新京勞動保護会

新

京

出

張

所

告刊阿一丁目

英屋方

(銀は三〇〇七年)

支本

報四電開 話 話 五 一 五 人 五 の る 大

店

洋服

2

货款

初 與 社

では一大は一大ない。 の近る色を見た。 ところへ、お砂つ峰しになつてはところへ、お砂つ峰しになつては すでも、棚手が窓いんですから、「でも、棚手が窓いんですから、私子は窓 楽るでせらから、その時にね

上等下宿空間有9下宿鹽會世は組合事務所下宿空間有9館へ

八南指

でないんですよ」と、管学は自動がありに勝しく気づた。 でなに、わたしの窓の発生と根数でないで、呼かお眠まに、あなたの窓の発生と根数 なるというちやありませんか 洋版第 6種製本專門 三省堂製本所 三省堂製本所 師範 西田方山

柳尾新聞舖

商店

新京曙町四丁目二番地 新京曙町四丁目二番地 町 正 二 耶 石 話

章洋

以行

四五

新築落成致しました 新築落成致しました 北門外大馬路 女中 用 旅 館

田

開店 加盟店 輸入組合 部賣贩館眞寫乾 目丁二町野吉 每Q九三二話電

近

B

荷

御婦人方へ 店門專 **县吞吉野町二丁目**

電は三つか二番

質は三浦屋

安全に排虫マクラ ーデンニクマは日本 金 二旬息: 汉大 店面古友课题 社会类像

> 初春の お召物が高入荷

電話 [] []

怪: (開始)須藤 凱。

秋鐘

ガー

歌。

大 (日十七) 大 (日十七) 大 (日十七) 大 (日十七) 大 (日十七) なんです。もうそんなものはすってからかが続きになる品物を出せといったといふと 信奉は大塚に原動しながら はながらはないなどのないです。 と思います。――もう、殿が始院で、大野で開かたとを呼ぎつけたとっ、大野で開か然でこするやらなことを終いったりして、さかんにことを終いったりして、さかんにことを終いったりして、さかんに

預金利子

であの千輪子さまをですか ちゃない」

形交換所は十三日の理事會で「東京十三日發詞通」東京手

引下斷行か

だの手に難したくはありませんか でした。 自分は堕落してしまつた

子は息を かりませんわ。 おりませんわ。 おりませんわ。 かりませんわ。 カー『まア、そんな確をするのでござれますか。 御職は出來ませんのね

かされたりするやうな事は、彼多なでも、千野子は、既はから云つ

荒

木

章

電話二一五八杏

石

松

茂洋

行

1、積痘後己海五半者以及種痘而不善感(不出)看1、骨未接受種痘者。但除生後未過九十日者應緩受進時種痘人

一月世三日 新京市內

檢拉月日

檢 一月十七日 初 日 日 十七日 施行區域 至午後三時 府 伊 門 時 太協及于協

新京市內 施行區域 太 切及于 切 堂 所所

=

一月十六日 種痘月日

毛皮ャース 各種 △加毛シャッ 一条 単 下 袋 本

是非御電話にて 1二六〇二番 **吉野町二丁目一番地** 東亞號藥房

御藥の御用は

知れ、年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日 明和八年一月十二日

新中地方革務所長

荒

一座

(8) 士名年

喂

或 委員

価価舎は四階建の

除馬国を

1 日後代を名を与りました。

のである のである のである

持して居る銭大島は

でる政府の

日醫不侵略條約問題其他

奪行為を始め村民は我家部に ・ 本登調達思はしからざら中日 ・ 本登調達思はしからざら中日 ・ 本登調達思はしからざら中日

様で學良にして此鑑解觀せん不満の竪は登局まつて來た模

大變化は異常を注目をひいて 的で県良失脚の溝は愈々深ま り來り熱河方前の形勢推移さ

人事往來

安福军衙河县)

外交員募集

大連新聞新京支社中央通り十三番地

外務省若手組

十名で僚友會組織

飛行機、自動車火砲等

某國から購

學良戰備いより

なる

村 あつたが、十三日外務等像友 に討瞒する者である 自 の職進を計るため少肚相の奥 に加へず、先づ第一回管合を な の職進を計るため少肚相の奥 に加へず、先づ第一回管合を の職進を計るため少肚相の奥 に加へず、先づ第一回管合を を選び、課券以上はメンバー の職進を計るため少肚相の奥 に加へず、先づ第一回管合を を選び、課券以上はメンバー

猟洲國に對する帝國政府

育さいふるのが組織された。

機"。自動車の供給を受け他のである。その購入に力をそもるでは及器の購入に力をそもるではひ。取引は上海。天津にて行ばれてゐる某詞よりは飛行

東。化単兵器を購入してゐる 東。化単兵器を購入してゐる 東。化単兵器を購入してゐる 東。化単兵器を購入してゐる

総欽はその失敗を成れて病氣 は稲し婉曲に担拠したこれが はるの失敗を成れて病氣

新京大和經濟學的九時より正午品で何來該ありにし 新京大和經訓訓 新 京 事 務 所

社員募集廣告

雑軍の配備

雑軍相繼ぎ

北平通過前線へ

進退兩難の

配に輸送されてゐる、壁外動 亦と乗り込んで來た傍系軍中 病機の部隊は約三萬で一昨日 來ナ部隊が北平を経て觀州方

小賣致します ・ ウオツカミ葡萄油

勢造所日本被通り四個

そか

イル

コサチ

責任轉嫁を策す

ゆで行ふの二大磯則を最後忍主張するものなるを以て愈々委員會再會の際には鬱閉側に最後の決裁を打ふべくさ明示してるる。右に對し外務省さしては、瀛洲國存在の旣成事實。日支粉甲属選は聯盟の手より切り離しる員會再帰さ同時にこれをの折衝經過一切を報告真もに規約第五條象四項の和序動告手段に出るも己むを得ざるテンド總長は後來の如き日本の態度では聯盟對日本の折衝は到底一致 點に到達し得ざる見込なるを以て十七ラモンド總長は後來の如き日本の態度では聯盟對日本の折衝は到底一致 點に到達し得ざる見込なるを以て十七 動告決議を無視するか 断行しあくまで聯盟にて處理すべしさの三原則を固持し杉村 -マンス議長さの骨見に際してはイーマンス議長は聯盟本來の権威を保持し偶集上保全。和協委議する論訓も なく寧ろ日支粉軍事件の全郎は頗ら悲觀的情勢程にあるものでやうである。即ちして來てゐるが十三日正午までの情勢によれば依然兩者襲り別意る無し。 に到達し得ざる見込なるを以て十六

イフが軍縮會議に執れる態度に做ひ帰還は脱退せざるも代表部を一時全部引上け敢行し聊盟の日安粉甲香 事委員會で

八箇師には待機命令 日を決

9

對して一致順結抗日の最終目的を以て貫徹をも惑加せしめて由海關奪取さ熱河防偏に(天津十三日發國領) 隣京来職によるさな 土脳無並木獨人の軍事顧問

と得ら手ミント 開氏の事務局案内容は仄消するに左の如きものである。 自の構成を関係少数過ぎする。其数は七ヶ岡若くは八箇 吹きする 中書員後段の場別過現所権に関するの部分削除 に得ら手ミント 開氏の事務局案内容は仄消するに左の如きものである し世権派を限定する

意味の表現を用ひて超い直域交渉を特除する章は参考さする點は 底程度監認めらるでも直

観代表から外務本省に到着し 後四時に至りジュキーヴの帝 駐日佛大使

一、日支紛争端理の貨職阻倒を以て総際では様だが其の優酷は

途に就いた

他の事實を否定

世に善し、『世紀十八年生の四十九歳、申京治大田で前代第十、官を鮮し爾次書城に従っ『母』の名作に依り文名一関山縣人、明治十八年生の四十九歳、申京治大田で前代

未だ杉村、ドラモンド 爾氏折の考究を始めた、 事務 島家は 衝中で最終的結論には非ざる

さ揚女公家訓に日 易に曰く、「蒙以

ラモンド總長雨氏の折衝に成一線日決請案に襲する杉村次長ドルの日妻観诵)聯盟對

事務局案の内容

して見童の心地を削いす今後 数 株園及園民小學は常に已を受するこ式を以て修養の始基こなすべきものにして単検教育は決して排外の色彩を帯びる | 金本の世界の教育家が役々さ 大の言、吾等の指針さなすべ を其良知良能」さ常に以て先

今後の教育方針

費+聖功也」 文教部次長

府立工戦學校々参観したるには常に農工を食んやべきなり

1の長き湯の羽旨を体して一ちの長き湯の羽旨を体して一 年頭所 感

るべきものた ・ 教師の人格向上を計り其の薪 ・ 教師の人格向上を計り其の薪 ・ 本の本部は今後地家經費の ・ 市せんごすをものなり、我超は近年軍 ・ 現の場響を受け商業は破壊せ ・ 一 本の本部は今後地家經費の ・ 市せんごすをものなり、我超は近年軍 ・ 第の気に中界及高等単校を設 ・ して戦勢し得ざるものの気に して戦勢し得ざるものの気に して戦勢し得ざるものの気に ・ 工文母の助くろ賓さなし其子 ・ 「東京ない」、
・ 国逸

ルそ教育の道は続して宜しく 人の長を採り人の短を楽つべ 含なり而して最も自調の網枠 浩然の氣を養ふに在り是を以投。儒奴眞止の精神は其忠變 ・雖らそれ志を奪ふべからず是孟子の所謂「至大平剛奉於天地之門者也」今や城廓未だ完からず貸財備はらず實に國統 に非すして何そや若し斯の如き精神民滅せんか其政は必ずや之に随て滅亡するに至らん、部人は皮東遊して明治神宮に参拝せる時其談民の祭拜書途上に絶えるるを見忠れ愛 の念を覚えざるを得ざりきま ・ の念を覚えざるを得ざりきま ・ の念を覚えざるを得ざりきま なる師粹を保存し以て

以上三項である以上三項である 十五條第四項

安島手段が不成功の場合を豫に他方に於て第十五後三項のに他方に於て第十五後三項のにが、こ同時 ス連輪を命じてゐるので、外 想して事務局員に第四項に移 聯盟が進捗

ず四項適当以降の我最優的行

宮內省新廳舍

來月着工す

四、體級動馬六百十五旅第二 揚村方面に向へりに亘り年漢超磁州附近より は十二日午後八時より十時百〇九卿の全部兵力約二千

(天津十三日健國。) 軍司令 職し我中個隊長染谷中尉から 職し我中個隊長染谷中尉から 職し我中個隊長染谷中尉から 局は我力の要求(内容金糧さ 支那側我要求を容る 軍費捻出に

水安保上上投水 「錦州十三日養婦領」九門口 占護後同地東北方山地の腰城 討伐に向った三宅技術の一部 降は十二日午前十一時永安堡 を占據した同地附近にあった を占據した同地附近にあった 「天津十三日養國油」張學良は最近北等鐵路局長高紀設に命じ天津外部銀行(香港)上面化十萬元を軍費に流用せしむるささもに天津支那銀行しむるささもに天津支那銀行。これが成立するさるさに開はらず更に一千萬元內外の軍費捻出の當め昨日から非常 會議を開く 學良非常財政

三宅枝隊の一部

大兵十五、黄係將校以下八十八) 尚は安郡軍の参加人員は 古兵十五、黄係將校以下八十八) 尚は安郡軍の参加人員は 大兵十五、黄係將校以下八十八) 尚は安郡軍の参加人員は 大兵十五、黄係將校以下八十八) 尚は安郡軍の参加人員は ●酒よし●味よし●女よし

> 鱼 神

一山が顕彰に参加せ

の恐加人員は三

海関事件後自己直系の大軍を日のかけ軽勇ましく郷良は出て、大津十三日産副領) 積極抗 日積極行 反學良の聲 この儘靜觀せんか 學良打倒の烽火は擧らん 高まる

今回傍系雑軍の大部線を引き 支那間が不法行為に出でざる平津地方は手稼ぎなつたので しつもあり。日本側はあく窓楽具島及熱河の前線に集中し 入れ而も相當重要地點に配備

軍の廣崎国主計画的なる移動 おり、事件競牛以来新る支那の東部は関連に向け出動しつまた北土明線に向け出動しつまた北土明線に向け出動しつまた。 離桝動車の前線移動に

任神線策さして十一日蔣介石 現かん哉阈氏怨嗟の的さなる 関雄に陥つて居る學良が、費 のないない。 のない。 のない。 のない。 のない。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 でいる。 でい。 でいる。 でい

部除は二萬餘で平津の中間重要地區場村に一個廣一部は開平方面に送られ及宋智元軍約四萬は新州三河、玉田、北中山海隔自動車道路の要地に配別高餘であるが其の移動状況は目下判然さしない。何れに

純日本簞笥

和洋家具

製造販賣

内地ノ職人ノ作ツタ

聯盟の同情な

を得よ

支那代表

から學良に電請

唐山方側に向ひつしありまカは十二日夜より泰島島 午後九時より十三日午前一 新編與立第一師は十二日

こ要求して來たので蔣は何趣一

| 困難を纏めてゐる模様でゐる | 然さして其の指揮統一は顧ら

室內裝飾二

高尚ナ簞笥へ

極ク上品デス

偽勇軍首領桂芳亮

派遣せられたい 軍事の責任者を

三。第八十四師高桂遊部除第 附近より楊村及北倉方倒に時三十分に亘り平漢線事曹

日連夜幾何及北平ご頻繁に昨 憲兵拉致事件

自動車で熱河經由北平に向つ良の召覧により五日華僑曾の良の召覧により五日華僑曾の

着荷案內

紅玉リンゴ(百目金土1個)一箱人のキノモアリマス 季節に應じ

和京三笠町四丁目五

参謀次長から

(E)

を加へたるを展復し 幸 加特民の努功に耐し地の御政功を祝し、新春さ共に福州副健の愈々の窓への御政功を祝し、新春さ共に福州副健の愈々の窓と地形の絵匠さを克服し、専悍通切に行は一家と地形の絵匠さを克服し、専悍通切に行は一

乘客はや減少す

行所有家屋を約二割の値下を蓬莱町にある日本橋順平本洋

家賃値下げ

0 きのふ新京の街は 日金曜日 果して平穏でしたか?

左翼論壇の某博士が

間所は三十分新原幹列車では

村落を掠奪しつしめるを奇閣 に対した敵匪は死体三十一排虜八 馬三十二を遺薬して八方に四

某大官の

長男

警視廳が秘に取調

某重大事件進展す

關慶錄等

ハルビン

大官業氏の長男〇〇〇十六) 警視廳は馬脇維極の中に政府 重大事件の檢察に大活動中の

沓掛古寺兩勇士

檢學される迄

したとうこと思はれる。サラ新京を中心の十三日会職累して鹿日であつたか警察を中

九日伊頸縣下三台に於て作財 大田伊頸縣下三台に於て作財 を遂げた四平街窓兵分除故北 原憲兵曹長の壯烈なら武動を 永久に記念すべく這程常憲兵 分除に於ては戦死の地に不由 戦死記念碑を建立する事さな つたさ

新務員をしてゐる 事務員をしてゐる

小林参謀長等

開魯一帶

不安の氣漂ふ

十五日から

記念碑

た、當局では博士の処き顕著が永久に概界から姿を消すは情じいから行きがかりを清算情じいから行きがかりを清算情じれないかご浮々さ説きの信ではないかご浮々さ説き

職性の期へ向つて恐しき凱旋の見送の狸に午後四時新京師者軍 中計古寺曹長両勇士の演骨は 中計古寺曹長両勇士の演骨は 中間の見送の狸に午後四時新京師者軍 同分智代理飛行隊長以下多数 の見送の狸に午後四時の演骨は

ポプラルに於て結順した開慶 録の総順部隊二千五白は十三 日年前六時間地投ハルビルに 協選された今後単部線の警備 には吉林軍第七版が書る等で

を市内某所に引致厳重取調中

たやうに記憶しますから、博たしか博名から抱へられて来

南西の風晴

故北原曹長

鐡道の降客は 却つて多

宿屋祭利取締にふれ告録さる下宿屋告顧日本補晩北海屋下

満洲國政府が

國立病院開設

車で凱旋した 理に本日午後五時十五分勢列 理に本日午後五時十五分勢列

に封されてゐる

哈爾巴嶺附近に

匪賊襲來

發育式に

謝總長出席

ハルビン辨事所

八而通守備隊

禹魁殘匪

占據に嚇々たる武動を立てた

(荷州十三日發網通)力門口

つた、関魯一帶は不安の空氣以下在開魯の電閥の家族は何以下在開魯の電閥の家族は何

たさうです

縁者の前質の邪魔になるさ抗

卜宿屋告發

鐵道も無事故

無く殆ご定時に運轉し好成績 無く殆ご定時に運轉し好成績 橋部からの失火で損害に極僅 頃鏡火した、原因は煙突の接 頃鏡火した、原因は煙突の接 りで、急報により消防除が直に 火、急報により消防除が直に が、急報により消防除が直に

▲十四日午和一時二十分頃 智員出動したが一時二十分頃 であるのを發見消防激、新京 であるのを發見消防激、新京 である。 出を拜する

集ひ 十五日朝西公園で行はれる日 か出を拜する集ひ行大時二十

警備充實の満洲國 夫(四)は赤痢病にてそれら 門棚 年町正金銀行社宅石排和

(東京十三日穀醤油) 東等の 西南桜芬河上流に緑ぎして居 西南桜芬河上流に緑ぎして居 で主地振胆は東部線方面に於 でもんごする大勢を知り理符 にある我朝鮮部際に使者を派

王玉振も 婦順を 申込む

王司令は帰順に反對する一 を最を監禁して誠実を設し 子方順に逃けて來たら之を 攻撃する計畫をしてゐるか り主張林は自滅するか又は 第〇〇副

二歳の可愛盛り

窃盜犯人

死亡、順親初め親族は皆なけった。 原親初め親族は皆なけるといてあつたが関部蜂巣で暑祭の甲斐なく十三日陰にで暑祭の田原新一郎氏の長男寛

第一件書類さ共に編州國別 ・ 取調中であつたが十三日 ・ 取調中であつたが十三日 ・ 取調中であったが十三日

管部警察職並に新京棚領事語 十三日中に交頭事故並に司法 化工工工作も養生を見なかつ によるものである 室町一丁目離井昌干(六)は十市内大和鴻向井紫枝干(一)及 傳染病續發 きのふ中で四人 備洲國紹介に 日満當局の

畵

(超通) 満洲網並びに在湖日本 関常局に於ては『満洲趙の登 領常局に於ては『満洲趙の登 徳取况を限から世界に表示す 5」目的を以て近く實裏のト ーキー映画撮影を計貫中であ る。右はニュース映画さして も必ず世界に新たなる認識さ を必ず世界に初たなる認識さ である。殊に注目すべきは満 てゐる。殊に注目すべきは満

市内富士町居住朴は家主の同市内富士町居住朴は家主の同市内富士町居住朴は家主の同市の数さを保安保へ叉夫婦間の愛の破たんより雕織問題を 職当事務所並に吉長、吉敦線 ・ 事件や、列車の選延等は新京 ・ 現本の選延等は新京 ・ にね こばし等の 腥い 家屋造作の事から

願ひ出 へ送致した **盗難二件**

市内配町浦杉某餅、綿、布卿を登録に選ぶ住吉町一丁目路

法權撤廢の前提

法院の組織法其他

城内は無事故

裁さを依頼未だ解決を見ぬ

死亡はたい

理の弊を打破して一瞬三審制 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 準備進む

財 皮さなすさ共に司法権の級正 ・ 本当なの作品である。 ・ 本当なの名称に独立せし ・ 本当なの名称に独立せし、 ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた、同これで同時に ・ 本当なのた。同これで同時に 統制監督をなす事こなつた 一級可制度に 要質の向上、 の居出制を

講郭人の阪程に刻まれた終 遠いこさではあるまい我在 選いこさではあるまい我在

族で嵐の歌呼に送られ一路字 であ中尉は傷病兵を代表して であいまの送別の辭を述べれば

右関資報告は廿月頃までにはカの衛生賃情調査を命じたがカの衛生賃情調査を命じたが 「咸通」 漏洲窓に於ける一般 非常に遅れて居るばかりか、 能数に就いては些かも観みら 施数に就いては些かも観みら 施数に就いては些かも観みら がなかった、弦に於て衛生行 を乗撃良の悪政治のため衛生 カすス事も計賞されて居る。 本年内に主 要都市に 第二師團の 凱旋完了す

に動画型の残熊集合し附近各 に在る技守偏隊は十一日午後 に在る技守偏隊は十一日午後

飯塚枝隊の猛撃に

を撃破

氏は右腕に貫明統側を受けた ・ に終て環事領警察巡伐井上要 をに○○名出動交職二時間の をに○○名出動交職二時間の をに於て環事領警察巡伐井上要 に終て環事領警察巡伐井上要

進ぜるここにし

但しロ

春場所角力

初日勝負

であるここは勿論ですから懐に相談しなくてもよろしい十八歳は112碧の木足。性は砂の中の土です。前年の隋りでの中の土です。前年の隋りでなの苦勢がある。彼氏のここについてかごうか、これは表向に發表を添ける。一月の選挙だけで云ふさ、石コロの

凱庭を終つた。

我軍意氣揚々引揚ぐ

七九雷大金 単州 の 湾山山濱湊

肩ま取突ま すき切出き か落りし落し

離愛外可小(音) ノノケ愛野() 化花溶繊錦

」超遂に降伏

「東京十三日産組通」角力春場所初日中入り後線路勝貫左

はや十五日

(場所) 兵五十 (場所) 兵五十 (大連十三日後端。) 十一日 (大連十三日後端。) 十二日 (大連十三日後端) (大連十三日後端)) 市民は (大連十三日後端) (大連十三日後端)) 市民は (大連十三日後二日) (大連十三日後端)) 市民は (大連十三日後は)) 市民は (大連十三日を (大連十三日を (大連十三日を (大連十三日を (大神十三日を (に集めて焼きすてるので、そ た競長の神事が執り行はれる た競長の神事が執り行はれる に集めて焼きすび執り行はれる

地の兵匪も殆ご掃潙され講

また當らなか

ごが出來ない一日も早く即

北端水災牧湾の議洲演第三回 ・ 地域上で財政部員、首耶響祭廳 は上で財政部員、首耶響祭廳 日立會の下に行はれた、二高 田の奉漢香號は一萬四千二百 七十二香ご判明した、なほー をから別等窓の大籔番號は左

●三多 四二、一九五、八一九 三二、一三二一七五、一四 七、二五七、大八、三天一、二 二、〇九〇 の五八二 一四二七二 (似タラブに於て漫劇さ舞踊の生胸電遊木村時子一行來四頭

四平街來演

街

開花の政千代

は明花の

苗ホテルグリルルー

▲四零 五大、〇八四、1、〇七 〇、二三四、1〇七。三四、六 三天、九三、七四七、五三、三 大二、四〇、六二三、八五、四 八〇、九八、二二一、四一、六 三三、一七、九三二、二三、〇 七七、七七・七・〇、一六、1 六三、一三1、二二九 生駒雷遊等

第三回彩票抽籤の結果 四一七 つた

河方面へ逃けたが息もつかす 場々さ装満に引揚げた撃によりその根據 地質清潔 校隊は丁丞を監視しつも緊急 歌幹部且つ兵の大半を失ひ遂 調 最後に残された反議軍の巨 歌幹部且つ兵の大半を失ひ遂 明日は左義長の神事 七五三郷等は新京神社へ で の他神々のお札なご・敬神家 市中一般は同時刻までに鱧く 市中一般は同時刻までに鱧く -ルコード元夫 人組合力警店 ホ店 洋 / 18,3

會場

新春 愈々來る廿一 金五圓 堂 (千鳥) 一日開催 會

申込期日時 主 來る二十一日正午迄

新築落 本日開業 成 電 30 話の 客 室 Ξ 設 備十 あ有 餘 9 ま各 す室

ジオ・博

つて間花籠は何存知でやうが も座敷に出る時で造つて会休 日の姿は見ちがへるほご違つ て居ります

東京に八、三〇時報東京に八、三〇時報東京に八、三〇時報 氣

新京后八、一五 ニュース 八:00 ニュース 四、十五日の天氣模様は一一度力、最低同二十三度 豫 報

タイピスト募集

見へますがこれで十八歳なん 等。 ごこかのマダムのやうに が、 ごこかのマダムのやうに で、 黒の毛皮のショールにア

タイピスト壹名速記ノ出來得ル技術優秀ナル者
事務所ニ自筆履歴書本人携帶日曜日ニ
赤望者ハ新京南廣塲大同俱樂部内本倉

滿洲 新 協 京 處

能障害を胎すこさたし の瞳物は切開せずして治療し瘢痕或は機べし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切 マチス神經痛の如き容易に治し難きもの も旬日を出ずして容易に全治する事を得 鍼灸治療は醫術の補足で見る可くり -7 ウ

予覧セキ止メ で覧セキ止メ が 炎の妙築あり 吉 堂

年風ハリウツド式 鍼灸帥 動七号 吉

フリージャ美容室

なんだから

くした前倒な気持のよくないことはありませんか、易の数にはさっ出てるか。まちがのたつて知らない、何しろっかなんだから。 本社主催 新京常級町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號川横町

滿洲國人の参加大歓迎 新京日日新聞社

新 京中 央通三十五番地

ムも近日中開業致しまう 電話代表四四一 私股 五题三十五

あるて、たら、たら、さい類を、七粒の膜は、せいので、大粒の膜は、せいの膜は、

連中がかへつてきた

(型錄進呈)

代理店

阿

2000年 1000年 1

し竹食労

お曾料

三巻町三丁目

B

間衛電話二七

製作元

カナへ商

育製作所

鋤ち

焼り

水寄

藝妓好感

ビス満點

膝をするめて

一味のものが暗離したのでき出した。――佐渡をはじ

・ は之助の無肚な次心に と、感激してるるのだい。明日をもしれぬ重病の、明日をもしれぬ重病のではであらう、しか

迅速叮嚀

新

電話三二九五番

吹戸た 雪外さではへ

ーパ其他色々

博多屋製の奴すし東へ

花も實もある暖 い朗らかなホー

新年會の御宴席は是非

電話二四六八十

嬉野へ御用命の程を

特に勉强如何様にも

割烹藪吃

スマ居テシ特御

明なかホールさ

スキ焼の鍋物類

殿物各種国小林履物店

電話 | 三四四番

特に御刊談に應

カフヱ

電話二三七九番

勉强第一

料理は江戸前

富士タクシー

富士町三丁目

◎開業廣告



てこを考えてく 京をた

ず、腕をま

病気を何ご見る廿日の大會請な*、だが、雄馬、君は俺のな郷窟をこねまはす場合ではな郷窟をこれまはす場合では たのり! 雄馬

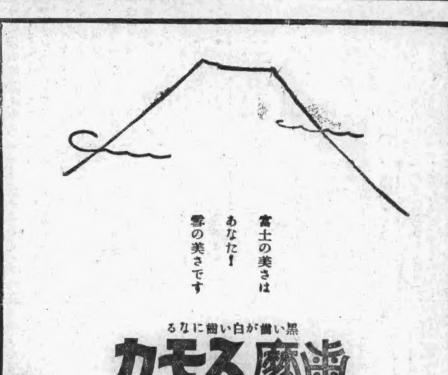
つぶつて、俺に決行させてく

棲艶紅淚双 俺も最後まで、天風組の同志すても、大義につき、藩のたはいけない――雄馬、私情をはいけない――雄馬、私情を 雅島 久 搭 臺









表彰品

御用

級 高東原

金 華 號

御

店計時藤佐

店の 元 窯 日田漆器代理店 香蘭壯販賣所 有田燒卸小 銘茶、富貴紙原價發賣 支店 電話四五 龍 九二番 五流線 にあり

初春の衣装

新柄陳

列

保管確實

② 村岡吳服店

電話二一二四番

御旅行者及一般の御便宜を計る為左配取物を致しますから御利用願ひます一、同到着驛留小荷物代理一、同到着驛留小荷物代理一、同到着驛留小荷物代理,可以速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か業書にて左記に申込み下さい 新京中央通十一番地

(通濟運輸公司) (通濟運輸公司) (通濟運輸公司)

特急ハト 新京九時急行營業

利洋食 急行サールスペピーホール の一番可一人の三十段 女孃二名入用

電話三八四六番 祝町二丁目三ノ三

御待ち銀で 神人組合加盟店 株人組合加盟店 株人組合加盟店 株人組合加盟店 株人組合加盟店

美酒佳肴

入一

満洲國金五色美

に話三四九〇番

慢自

長崎カステーラ

挙のモナカ

製業

美加工藝品 五 金銀 香洋 盃 金銀 香洋 盃 一 五 銀 香 洋 盃 一 初 积 元 航 額

(満洲國向美術七宜煉特慶)

てゐます、是非一度御出向きを顧上まず「富士町二丁目富士町二丁目

種各 版指 實定 撫順炭 電話三十六八番

三盛町四丁目十四番

支 店 『キッスイ」の喫茶店が生れました 御疲勞に

喫茶部 の最高權威也 雜和貨洋

したから一いも早くお求め下さい。 お待たせしました、 弊に獨特のこれこそ理想の防寒靴です 澤山 勢っ

る、一九三二年十月の加奈陀 正反對に日本演襲で支那属倒 正反對に日本演襲で支那属倒

一理のだ。 ・された聯盟臨時總會も大液機 に一理のだ。 ・された聯盟臨時總會も大液機 に一理のだ。

貝中に在る。日本對聯盟の外

法會社法を公司法。商標法を開発法、相積法を標果法、商標法を開発法、相積法を標果法、商業法を表別表法を

各商店學

捲土重來の意氣旺ん

•

教員養成や素質の向上等 具体案を作成中

福祉法等主改稱し、 環門園の 照特味を盛つて著る。 同書の 出現は目下崎務院法制局で調 音中の政府各部採用法規。法 全の刊行さ相俟つて従来支離 減裂であつた資体法並に手續 法も全般に且つて明確にさる 1年ごなり、司法権権立に一れて居る 和祥洋行(室内製飾)和祥洋行(室内製飾) 版 松 堂(書籍) 松井電氣(電氣器具)

品面會(审問品)

(東京十四日最國語)後藤島相は昨十三日午後三時半高時相は昨十三日午後三時半高時期し懇談を強けた、之を同時に石馬次官は大蔵省に黒田次官さ曾合の結果右州案でも顕

成中銀副總裁

は成中央銀行副總裁は北福金 ・ サラハルガ南の襲撃に向ふこ ・ ララハルガ南の襲撃に向ふこ ・ こしなつた

スクト競技大會を開を終了後 保よりは結湖おしる初の饗應 がある尚常日呈市に小郷児童 の實傳以行列を爲すこ スケト競技大會を開を終了後市の催しは小単校リンクにて日の皇孫戸外デーに於ける後

な数に上つて居るが、大連、打鋼く世界的不況にあつて閉た所謂老舗の個人商店もでを余儀なくされたのが意外

を を 大等で 等質な地酸を 占めて を 大等で 等質な地酸を 占めて

交取が日支紛事を中心をして のみならず英佛も同じ心境に のみならず英佛も同じ心境に であからだ、米浦も亦郷盟外 を送つてゐたのは單に小網

壽府に於ける

國際外交戦の展望日

へがつかみ得ないとい

利に展開せしめた他のである。赤野府外変戦を日

得ない、大統領がフーペーが 大望を有する以上関心であり 大望を有する以上関心であり

質易館分館が日立つて居る では商品仲介斡旋の大阪府立ては商品仲介斡旋の大阪府立

和洋家具、敷物

掛、文房具

洋品雜貨、

建築材料

品川洋行新京支店 奉 天

親切

油衛水煖機

脂生道房椒

塗 陶 用 材 工

料器品料具

防寒帽子、共他防寒神人用襟卷、オーズ

支店開設ご毛皮廉賣

その自

dimmini. 防水工事請預確子欲込工事請預 minimi

支店 古林城內電話二九二五番電話二九二五番

Sammer and the same of the sam

體資海乾

Squameniniaminiminiamini S

目種業營 ヤ川日膠セ東マ崎進着ン亞 的水劑「ウオータ タゲッリ ラ網スユ

詰物物物 卸商 1

電話三〇七五番 商

話二心四四番

三笠町三丁 **杜 長春實業銀行** 目

地場銀行を御利用下さい首都新京に唯一つの

叮嚀

實

沼

辯

吉野町 一丁目三番地 電路三七二八番

法辯 學護 士士 原萬千 百

Zananamanamanaman

町京ピルデング一階十九號

法律顧問及鑑定 諸契約書の作成 黑田實法律事務所

みしま 吳服 電話二五三 店

三つの疑問()

気込みで登集を開

大同工態支店(製圖測量用

フェデラルへ目動

建築材料商

營業品目

機道用品、機械油 一機道用品、機械油 一般 一般 一型 一型 板 一型 船 引 平 浪板 型 船 引 平 浪板 型 船 引 平 浪板 板 で 船 引 平 浪板 板 で 船 引 平 浪板 板 で 路 引 平 浪板 板 で 路 引 平 浪板

門

一六日の再開には

ものさ見られて伝

8

不揃ひ

咖盟代表を交代さす

一般政務財政問題に就て質問的水富士領。川崎克爾氏から

工業者教禮に離する件。 ほ替 質債緊選さ肥料問題、中小商 質債緊選さ肥料問題、中小商

(3)

策動してゐたマ氏を罷免

業統制で

來議會提出の

民政黨特別委

員會

、「Tunned」のでは、これでは、これであり、「アンエタ外州も出来られば少免の理由は病気の爲さ種表されたが右は口管に過ぎすして、彼はスペイン政府の苦心に反思理事會總質にはブンシス、コセラ氏を出席せしむる旨本日確表した、マダリアガ氏能を動をやつてるたが同國時間代表マダリアガ氏を能免し来るべき十九ヶ城委員會並に敬意動をやつてるたが同國時間代表マダリアガ氏を能免し来るべき十九ヶ城委員會並に敬意動をやつてるたが同國時間代表マダリアガ氏を能免し来るべき十九ヶ城委員會並に敬してリファ十二日確認通」 スペイン政府はかつて小の側の首領取ごなつて盛んに 反日 前刑事並びに大阪衛工會翻所殊に破、砂腫、人絹、バルブの発料肥料に対き工業クラブの 産業統制運用に関する特別委は十二日午後二時から本部に「東京十四日後國護」民政策

外務省着電を綜合

「東京十四最間道」 静府に在 に外務省署の事務局案を綜合 に外務省署の事務局案を綜合 ン彩告書品が章を原則的に十一日の總會決闘さリフト 十一日の總會決闘ミリフト、和協議理に當り昨年17.月 十五條三項に基く和編手段。廟盟の日支約甲に對する 採殺せんごす 日支紛争に對す 一、機會にかわり和協手段を 代行すべき小委員會を組織 し委員會の護限は和協にあ りき明記する事 だが我修正案を部分的に承認的米質招請如何の部分は未習 に再報告する明日を三月一 會經過の報告を受けて總會

巴五千月

我訓令 委員會は形式的に 遅延せば

新

国し居り列國及剛盟は帝國 国し居り列國及剛盟は帝國 政府を非到する態度を平め 公正な措置に帰目せよ 、支那に動しては帰固なる 中央政府の建設が東洋平和 の第一要件で此の點に輸し 帝國政府は内政不干渉の原 別により能ふ限りの好意的 援助を與ふる菩薩の友誼を 政民兩黨の 有するものだ

備並に奈良支部競響式の件其 なの十六日発育の大阪支都で 来る十六日発育の大阪支都で 来る十六日発育の大阪支都で 来る十六日発育の大阪支都で 来る十六日発育の大阪支都で 本のは十三日年後本部に幹部

本と協調

に

多田少將東上

たる納得させら離る業が残されて居り、他方日本政府の訓令が果して十六の十九億國委員會再開前に開いた。第一訓令が遅れるので育りの十九億國委員會再開前に開いた。第一訓令が遅れる場合はである而して日か、第一訓令が遅れるので有りであるが、第一訓令が遅れる場合はであるが、第一計をは、他方日本政府の訓が、第一計をは、他方日本政府の訓 京に輸し軍政部では左の發表軍政部最高間間多田少勝の上

空気も最近あしく繁張を示し 関であり到底看通し得ざら所 である。 隠て海洲國軍政部の である。 隠て海洲國軍政部の である。 隠て海洲國軍政部の

多日はいる場合のである。

露領遁入判明

大の影響

を及ばすべく近い

タリ連絡兵 支那兵に虐殺さる

之を敢がするに躊躇、るも

の東上を見るに至

日午後非園、枝跡の貫追貼められた王徳林は枝跡の貫追貼められた王徳林は枝跡の貫追貼め明に部下敷名を共に自動車で開事4ゴコフ氏に對して表来勝参謀は十三日ボグラニチナヤの蘇州の引渡しを要求した、尚十日南方へ敗走した王徳林の部下五六百世町等周カ三十支里の所近の副境から露領に選入し赤衛軍に武装解除された事が判断が、高十日南方へ敗走した王徳林の部下五六百世町等周カ三十支里の所近の副境から露領に選入し赤衛軍に武装解除された由で

必要なる場置は獨

所で今度の問題は様

京に入り陸平省器謀本部其

協調にて破際親善の促進を件は此原則にて整調し自主件は此原則にて整調し自主件は此原則にて整調し自主

要隣の館を厚うするさ る友邦は密切協調を要する

「ジュチーヴ十四日最初油」「ジュチーヴ十四日最初油」
「ジュチーヴ十四日最初油」
「ジュチーヴ・四月 で美術に到着する独定だが、小田明の念先嗣スペインのマダーフが氏は今度は出席しない。こ云はれテエフコのペチッシュ外相も來春が遅れる模様で

して居るのであります。 而した かすべからざる既定方針を受からざる既定方針を受 て此我政策が東亞の平和を

りまして今や此の方針は實が發達を助長して居るのでも

劉外交次長

に其様に おき財政の逼迫な之 動揺は昨年に於て

敦四十百六千三第

外相

の演説 滿支に關す

外務大臣伯爵

内田

所

関の力は一甲秋浦州平慶初 をも献はず我園防の安全さ権 全の擁護に整体しつつあるの であります、編帯にから我出身なる が本さ在留り は寒暑窮乏 であります、編帯にかける我 市間生命線を構成するものな が開生命線を構成するものな が開生命線を構成するものな かは投車副一致の信仰 あり

定し水道の平和を確化す

一の道でから

の責任者さして外交次長電調により南京政府は外 傑を北上せしめたが倒は 可飲誅求に

表面化 住民の反張

(天津十三日 種間通) 學

一、東京十四日を國流)荒木陸村四日平町九時東京は西西下七四日平町九時東京は西西下七九た。各古屋に於て同地方に於ける軍事工業關係者を招待して風鉄官を開き十五日は名古屋舞鶴公園で行はれる愛知古屋舞鶴公園で行はれる愛知市し十六日平前名古屋の防至兵器並に呼兜動物を現象して同日を発力時二十分東京經管嗣京 政友の質問者

南な物間か口喜六氏邪三帥囚 政治一般濱川總務、第二陣は 政治一般濱川總務、第二陣は では、東京十四登両加) 飲友會の

刊 地方住民に一起、60一関十銭 は銃殺するを縁してあるので住民で 振りを軽揮してゐるので住民 振りを軽揮してゐるので住民 一間十銭 荒木陸相四下 名古屋で懇 題砂田政重票適宜谷壇 米國粉の

米穀法、負債整理案

藏相反對の意向

本 集に就ては大体管成なるも同 場底質験の點は之亦穏体度動 の裏向を表明機材が局の再考 を求めた

開魯の

を拒絕

満洲國の 方針につき陸相語る

部

在つた周作霖版を移し克山には前河にあった賈金銘を入れ換るべく目下各移動中であるが6本月中旬迄には完了の豫章である。斯工極北の警鐘は完整を開せられることになった 開魯の反滿分子 秘密會議

比し半減の狀態を示し、其のに取扱ひにる特重物は順年にに取扱ひにる特重物は順年に

徴收すっ

建築助成會

解氷を待つて活動

合 合 本 本 本 本 本 中 中 合 合 其 木 雜 大 是 合 其 豆 大 東 合 其 豆 木 雜 大 是 合 其 豆 大 東 合 其 豆 木 雜 大 計 計 他 材 穀 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計 他 柏 豆 格 計

特產物

林及其の部下も はれる

心ず公共建築をも引受いると

四日午前十時っすりの丸で上に大連十四日發幽郷〕 伍堂曜 上京 (大連十四日發幽郷) 伍堂曜

分子の反満

秘密會議

先物衛付 杂、云 跡 大連錢鈔(古田前場)

四平街驛中心の

貨物動き四

六年十月から 七年九月まで

出来に宝篋書 現物10.20 別 に元10 安 101 × 10

京 取 相 な アルマン ス の 出来高 宝平

平街打切貨物到着一、四洮線各驛發四

高(單位十口順)

つき休せ明け劈頭に徹 部骨を十九日全体會議な 整内線務會を同日午後一 を開く 日正中の質の 起用は眞平 蔣、學良の提議

章及金山好一味機に温歌で備め彼等に没吹されたる物資相とり、自其貨めに完全なる、十月以降の累計は五七三五二、三車で前年同明に比し四〇〇二一、一車の減

是世務可是を訪問。夜半に至 るまで雷時の情况を報告今後 の整備對策に献き重要協議を がけた

十一月·豆、六大〇系聚五十一月·豆、六大〇系聚五十三百豆四〇三小豆一

十四日發調油)早良は

「天津十四日最間間」商屋、 の移動は稍困難さなり昨夜か ら今朝迄に通過せるは二箇列 軍隊減少 天津通過の

朝鮮人農務稧

▲十二月大豆七、大一三高架 五九七本米四、二一八包米 三年醫夢四大二寺豆二四九 小豆九七芝城三四大大麻子 四七小麻子一一大蘇子五二 豆粕一一瓜子:計一四一五

統一計畫進む

商軍移動困難で

行省重要法案 た者へ救恤法の民 の爲損害

定の分さ提案録言の分さを決定の分さ提案は関し各閣僚より提案決定の分さを決定の分さを決定の分さを決定してが、主なものは 一、選 農林省 爲特管理法案 選事法中改正法律

米穀統領に関する法案

爲損害を受けた者に對する一、支那に於ける動剛騒擾の 蔣が學良

な開税具体案を招き寡ら生産者 間の意見を聴取した。近く消 間の意見をも聴取した上 情品目別に生産、消費、東方 面の立場を考慮して最も適正

政府に進言する事になつ

國民同盟の

積極的激勵電を發す 中央から八箇師を北上

(天津十四日韓國地)間内の を勢は其後暴常なく九門口に を加門口を通じて脳内外を住 変九門口を通じて脳内外を住 変してるた偽男軍は欄食。弾 乗してるた偽男軍は欄食。弾 ある。蔣介石は南京

後春見に左の如き激励。報を 「一年の大路は遺 「一年の大路は 「一年の大路と 「一年の 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の 「一年の大路と 「一年の大路と 「一年の大路と 「一

完壁を期す

未曾有の住宅難を救ふ

一及全工 大千圓を年月頼五十圓を逐次を排へばいるを入れて月頃五十一回を 利息を入れて月頃五十一回で 文化住宅が依頼者の手に入る

沿線の特産的 の在貨車数は左の如き数字を がしてきるか、その機積のし 及び持込による若干の髪動は かるごしても現在に於ける特重物 のを貨車数は左の如き数字を ぶしてきるか、その機積のし をび持込による若干の髪動は かるごしても現在に於ける滞

况(+訓a)

中野 就 因 謝 外 交 總 是

新京よりハルピンへ零時五十

北滿各鐵道

十四 八六 八六 七 二 九 二 七 0 0

光光

阪神相場 (+四日)

現大件鼓勵發票 九九八野 票 對 金 票 九九八野 票 對 金 票 九九八

九九九九九九九九九九九九八二〇〇

実施は"遼・攻撃の機會を狙

◆六年十月ス豆一、二二八高 柴一〇三小米三一七包米三

兵胜軍內譯

上海記念日に

日を

海軍で展覽會も開く

自然の表…… 自然は人類さ共に動いてゐる 生活に必要なこさでゐる吾々 生活に必要なこさでゐる吾々 今正に首都の姿は大變化を行 はんこしてゐる。十年前の長 春は新原を改められて近代文 明的都市たらんさしてゐるの である

本は落葉の下や、岩石の機関を第つて繁流し、水勢を脅しを第つて繁流し、水勢を脅して岩底を著しく浸蝕するものである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有りである。水有る所には横有り

を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者を要認ならしめ、女化者

売らく人間が人の毎明のみに とってその思恵に浴しながら

静せんごするのは大なる誤り る、然し乙を質用系一の上か る、然し乙を質用系一の上か

呼く光明を慕ひて身を殺す蟲

を積性にして少し

鮮魚小賣相場

彩

足カン

脇洋行

(E)

多で味動を残し息軍の武威を中外に発揮した一周年で海軍中外に発揮した一周年で海軍中外に発揮した一周年で海軍中外に発揮した一周年で海軍

ま前後して事要に関する展覧 特別令官等起つて追想級をな 時間のであるその他の軍では之 すのであるその他の軍では之

に、地上に満りし一滴一滴

~

間京流生

石炭の斤量検査 (1) 日本の 一量検査 (1) 日本が (1) 年 (1) 年

の 連半大力の 連半大力の を大力の を大力の

地理學的概念養成に努めよ

を同じく縁返しては居るが、本に沈み献々の中にも共行程

る否知らっさしないのである。

香々はその自己の研究の質に 否知識慾の質に"成は児及の 下に或は条明の中に或は観光程 上の極地に一命を物さもせず 「研究」そのものに幾多の科 ではないので、成は現光程

(變り行く新

の姿に對して)

のである

され、人類の物さなつてであ は肥沃な三角州を形成して此 は肥沃な三角州を形成して此

も山の登場が全世界の人をされたけ数つたか。 を明者のエンナーは他に知れ ない英大なる努力を排つて之 ない英大なる努力を排つて之

事は多々あるのである。

やい」……よく似のいます

島田でいからいらつし子、箱根の山の様なデ

十九日 常都子より大虎山 二十日 奉天へ 一二十日 奉天人り漫嶺、四 本街、跳南本 十二日 龍口より『東、チャルピン冷倍 十二日 パールピン潜化

京署で

新京署衛生保では今後下水、 原芥前等不潔物の整理を嚴格 に行び市民に衝染病防止を大々 でも七年迄の最近五ケ年間 の統計を示せば總数一千七百 の統計を示せば總数一千七百

C

十十十十十八七六五四日日日日日日

山海観より港番チへ奉天より錦繋より山海観へ自動車件復

除く、一四八四八六四十十二八八二)

(中国中川)

上け作業を開始する悟の潜水服の製作にかての大月の潜水服の製作にかての大月のにこれが完成し七月から引

傳染病撲滅に 衛生係活

動

執政を會長に

武道曾設立を計畫

行程圧の通りである

小包引受 三二〇四

世界士の等苦をねぎっひ野士の教芸のに映着に漫談に様の 東京が出費したが今十四日朝 東京が出費したが今十四日朝 大人の教芸のは映着に漫談に様の 関本派へてむからなる陣々中 関本派へてもからなる陣々中

配適實留

(元〇四四)

二八〇六

黄金狂時代

3

て黄金の夢は實現?

同軒者の出席勧奨方を依囑

新京着は二十五日

新京郵便局

年末より年齢にかけて天然痘が流行してみるが、この天然が流行してみるが、この天然症は効見のみでなく、大人が相常罹つて居る、現在満綱病院に入院せるもののみにて十一名の多数に上つてゐるが、院長塚本博士は語る B本内地で釋痘して渡論したから此處でやる必要はあるまいさ欲蓋して罹つた新によいこ欲蓋して罹つた新は内地ご強洲の細菌に差 ほんり は 内地 ご は 別の細菌に 差 ほんり は 内地 ご は 別の細菌に 差 ほんり は こ は 内地 ご は 別の細菌に 差 ほんり は 内地 ご は 別の細菌に 差 ほんり は こ は 内地 ご は 別の細菌に 差 ほんり は いっという に から は のの と で は の と いっという に かっという に かっという に いっという に かっという に かっという に かっという に かっという に かっという に かっという に いっという に いっという に いっという に かっという に いっという に かっという に いっという に に いっという に に いっという に いっという

取扱郵便物激增

靑

年團

本地主権の新京園碁大骨は無対率千鳥に於て開催することで、東京に決定した。我社は本国が大学を本紙愛讀者慰安の一株大学を本紙愛讀者慰安の一様大学を本紙愛讀者慰安の一様、茶客の有力者を住訪して、新川満側は執政府に中島諮詢。 日 **春客** 本社主催の新京園碁大會は を の争覇戦 廿二日正午千鳥で 目指

場す 5歳あつたが、中島諮園は折りるこ 小平内稿官に萬事を郵願ひした歳、同諮園は本社のこの権 10に贊助後援を挟諾せられ、 前 15、 市 効果な

の不完全により漏れ落らたのの不完全により漏れ落らたの 日本での 種痘

頭彩以下

可成りつた。

代言(上)11 ・ 一覧上上11 ・ 一覧を出した代賣店が判明した ・ 一覧形。一彩に四平街の高文 ・ 一覧形。一彩に四平街の高文 ・ 一覧形。一彩に四平街の高文 ・ 一覧形。一彩に四平街の高文 ・ 一覧で、同じく四平街の高文 ・ 一覧で、同じく新聞した ・ 一彩に四平街の高文 ・ 一覧で、同じく新聞した ・ 一彩に四平街の高文 ・ 一部では四平街の高文 ・ 一部での保責。一彩に

か一番シく嶋計七白七十二名、同九年三百四十三名、同七年五百六十五名、同七年五百六十六名で、何時の年でも赤綱 幼稚園小學校

があるためで斯る新波 …者 は是非常地で種痘を受ける 必要がある では左の5程により無料に て一般の種痘を行ふるになっ た 新元幼稚園小學校入學見重の 申込は目下新京地方事務所会 を保で受付てるるが十三日現 在の申込が住屋下新京地方事務所会 を保で受付てるるが十三日現 在の申込が住屋八十七名萬男 四十三名、女四十四名。西康 12十三本である。小學校の受 付明日は一月二十日迄で本年 は中込者が例年に比し少ない 様に見られてゐるが。入期者 の申込の方々は至急地方事務 の申込の情質の申込れたいこ。な にも幼稚園の申込れたいこ。な

館警察者へ大經路平三市場二十四日午後三時頃転京總領平

蓮香班客の

妙な噂

かに立

康の花を咲かせて居る」 でねご云ふ好成績を如實に健 でねご云ふ好成績を如實に健

痘流行に注意

十六日 太子堂 十八日 西原場小県校 十八日 西原場小県校 通州山城和町は創立以来市邊 道が面に對し積極的に各地に 工作員を派遣し建國の事實並 に自議時保建の精神小普及に 等めて著たが、今回元選事氏 奈自新軍の本様であつた通化 上げ事点を設け、日素満系各 一名赴任した。同地を中心に 和會が 新京附属地 康里蓮香班で標 中の念死したのを其第に無国中の念死したのを其第に無国中の念死したのを其第に無国中の念死したのを其第に無国中の念死したのを其第に無国中の念死したのを其第に無国のカー分は種々の事業に投資し間現金一馬関余ある筈で就は殺されたのではないかさ

四平街の

偉容を 誇る

開業 國都

監案の満洲に日夜肥徒掃討の大を執る皇策將士を親しく陣中に慰問、優民感謝の意を排中に慰問、優民感謝の意を排中に慰問、優民感謝の意を排作る報知新聞社平催の議別派音報問題名派遣東出身地の青電脱信を加へて二十六名の一行は慰問文、メッセーデ、其

十三日出來上つたが、年賀野 地つて以來の莫大な數字を示 地つて以來の莫大な數字を示 地つて以來の莫大な數字を示 してゐる〇內數字は昨年同期

に奔走すす智である 他も巡回し協和曾の使命達成 で奔走すす智である

飛路り 全を満洲酸料に引渡するトラフタに薔載日本橋通り南廣場 かられたど 全を満洲酸料に引渡するトラフタに薔載日本橋通り南廣場 戸外デー以来 - 日の欠もなく 一の二十二日は月捲の間に迫 一質に之れを助行するの外 員一質に之れを助行するの外 では所

感冒患者一人

き云ふのが眞相らしい

合製作しこを讃嘘氏に貸典積 を向に数点せんこする計画で以来等務の逐行刷新さ内外の以来等務の逐行刷新さ内外の以来等務の逐行刷新さ内外の し、同機械を常地に於て五十人會では避難民教婦法に對し 精原より製造機械を一台購入 関原より製造機械を一台購入 四平街 の火事

「四年街支景帝」七年度に於ける書市の出火件数は十五回にして此に依つて鳥有に歸した財貨は實に一一。七二〇同に上り間年の被害に此すれば出火件数よ五回の増加鎖害は一三〇八四七回、減少を示して 延びびく新京に最もふるはしいます。日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、日本家二十四、内八年室、四種学を付した特別室一 八室、大陸十室で、各室に にあてなこさになつた、同本 にあてなこさになつた、同本 でグリルの監督は落合奉之介 八室。六優十室で、各室に版大學三般を合した室四。八聲

ホテル • 腦定會歸 銀 隆 ΠE 連大店本 即四等田安田頭

御 電話(□) 九七 吉春長

是非共御立寄の上

御一覽下さいませ

以上當商會の

作製品揃ひ

各插

カワ

ウリ

入學申込みは早く をおは突如逃走せんさ東上より飛び降り一名は機化一名は 重傷を貫ひ他の二名は逃走し をが退職時の事ごで大混雑を 次が猩紅魚の二百八十二名。 カチブスの百二十二名で、痘 カチブスの百二十二名で、痘 で、アフテリヤ等が順次これ 十三號布の師崎口善作(四五)か殺害されてゐるさの既話にか殺害されてゐるさの既話に後した同署では時ならぬ緊張を示し直に署員が現場に急行を示し直に署員が現場に急行をはきれ亡してゐるが外傷な 臓漏痺を起したこさが判明し 三日夜支那酒を多量にのみい 三日夜支那酒を多量にのみい がなく、不審を抱き河野卓祭

心臓痲痺 内地の酷寒 「東京十三日を中は四度で参 がたが十二日夜から急に温度 いたが十二日夜から急に温度

々木格的の寒ささなった

で新年祝賀曾を催した 城内料理屋組合では十五日午 新京料理店組合では十五日午 新京料理店組合では十五日午

同同毛子种婦

一一十四年 消防際努力の現れである。 四平街小學校,

4 = 9 4.5 チ貝 H LON O HEOD O EAR HE TO

8

本小楼のレイ子の被氏ではO ●間じく小楼のターさんが……テ ちゃ、他の人のアノ人でする もの、他の人のアノ人でする もの、他の人のアノ人でかってかる は本○○のターさんが……テームニョッの淳子の彼氏ではた。 大慶大人になりました。その大慶大人になりました。その

食道學 9 44

限日兩(夜畫)五十°四十 各大 田 義 池 匠名 連朝

げかかに上の性例女男るき生に代時初 ? ぞ何てし果まさ利

夫秀野藤。二讓岡。雄達藤齋。光內山 子 照 水 若 。 子澄保久水 。 子雪波筑 子信葉若 演出回一第。也勝本野。修吉住 社入新

演主榮久上井。子敏塚飯。郎二長林

漬の漫自

11111111 ワ茄粕皮ペ紅白福良奈味 付 及 菜神京良 ピ子大大ラ 漬漬根根漬梅漬漬漬漬庵 三四四四九

寶 漬

毛皮製品に對し二割引斷行 供士人 殘 長ズ皮 り少なになりましたに依つて 哈爾賓キタイスカヤ街七三 上海アペエユウジョフル七五 用用用 ル七五八

掛 卷

又 P ~ 口 フ 商會

大防朝日新聞連載 雲元 史

B

開公週次

封

=

營共竹松 座春長

仮大人滿員の名、大連中央館、五 名奉 一來る安座

百連座





清の健



宴・千代田の



角瓶ザント

